



自動体外式除細動器

**市長** (1)一般市民が安全、確実にAEDを使用するための普及啓発活動の必要性を認識し、消防署の救急隊等と協議をして、AEDを含めた救急蘇生法の講習会の広報に努めたい。AEDの具体的な配備等については、さらに積極的に検討し、市役所、シーハット等にできるだけ早い時期に設置できるように考えたい。

(2)公の施設の管理方法として、管理委託制度から指定管理者制度に移行する予定である。今回の指定管理者制度により、民間の効率的かつ効果的な手法を活用し、経費の節減やサービスの

向上を図ることが可能となる。今後は民間事業者、NPO法人あるいはボランティア団体なども含めて、広く公募し、費用、企画などの提案内容から判断し、よりふさわしい適切な施設の管理者を決めていくことになる。平成18年4月から指定管理者による公の施設の管理運営を予定している。

**子どもの教育は**  
どうあるべきか  
しっかりとした方針を！

**恒石議員** (1)教育行政について

教育から常識と道徳心は養われるという観点から、市長にはしっかりとした管理を、教育長以下教育関係者においては、学校指導、子どもの対応等の方針を決めておく必要があるのではないかと。学校とPTAは、より密接な関係の構築が必要であり保護者とのしっかりとした話し合いがもっと必要である。竹松駅前の階段に中学生ぐらいの生徒が座っている。注意しても、なくならない。10年以上前から慣例となっているようだ。今年の夏はこういったことがないようをお願いしたい。

旭が丘小学校の1年のクラスで、授業中、担任が児童に対し

て行き過ぎた指導があった。この件について、校長は、子どもが見ているにも関わらず厳しく担任を指導したという。それは事実なのか。

(2)競艇事業について

JAL女子王座決定戦は、売上目標85億円としていたものが、95億近い売上となり、大成功であった。そこで、大村市として純利益はどのくらいになるのか。

**市長** (1) 教育長を任命し、教育

長を中心に教育の方向づけ、あるべき姿に取り組んでいる。教育委員会一体となって、明るくたくましく、個性のある子どもを教育したい。

**教育長** 学校教育は知育、徳育、

体育の3本柱を大きく立てている。本市の基本方針は、一人一人が確かな学力と豊かな心を身につけ、郷土を担い21世紀に羽ばたく子どもたちの育成という、大きな柱がある。その中に、5つの目標を立てて、それを具現化し、各学校で指導をしている。担任が校長からどなられている姿を子どもが見たということについて実態を調べたが、違うようである。この担任は、確かに行き過ぎた指導があったということを深く反省している。教育に熱心な先生であり、それを反省し、今はしっかりと学級経営をやっていると思っている。

**競艇事業部長** (2)他場との精算行為が残っており、まだ確定した額ではないが、大体1億2千万程度の純利益を試算している。

市民に理解される

行財政改革を目指し

**馬場議員** (1)総務行政について

財政再建計画について  
今回示された「財政見直し」によると、平成23年度には、赤字債権団体に陥らざるを得ない状況になるとのことである。現在財政再建に向けて全庁で取り組みが進められているが、更なる改善策を見出さなければ債権団体になるのには目に見えている。又、それを構築する上で市民に過度の負担を強いることのないよう最大限の配慮をし、改革に取り組むことを求める。それを踏まえ、人件費の削減策、業務の委託化、各滞納金の状況は、(2)福祉保健行政について  
保育所統廃合計画について、公立保育所の統廃合について、平成14年、16年に計画及び見直し案が発表されたが、行財政再建計画を考えるとき、早急に民間委託・民間委譲等の方策を実施すべきと考えるが当局の取り組みを問う。